

◆『令和7年度の指導方針について』

副校長・教育部長 有賀 浩

建学の精神、校訓を根本とし、「明るく笑顔で元気のよい挨拶を基調とした全人教育」、そして「勉強と仕事を通して自己実現を図る」こと。グローバル社会に貢献するため、「プロフェッショナルとしての自信と誇りを持ち、確固たるアイデンティティを確立する」こと。

これら本学における職業実践専門教育の土台となる教育理念（職業教育74周年、学校法人中村学園54周年、専門学校39周年を越えて、なお不変であること）を確と心に据え、学校・学科・研究・専攻において、社会人基礎力をベースに、学生一人ひとりが目標とする「職業のイメージ」を明確にし、学びの「目的」を理解。「自ら学ぶ姿勢」を身につけ、必要なスキル・資格を積極的に修得。更に産学官連携教育プログラム、フィールドスタディーの経験を通じて視野を広げ、希少性の高い「人材」となる。

これこそが、文部科学大臣職業実践専門課程の認定を受けた高等教育機関としての本学の役割だ。また、生涯学習機関として、卒業生や社会人（在職者、離職者）を対象とするリスキリング並びにリカレント教育、小・中・高学生のための職業・キャリア意識向上も支援する。

本学が最も力注ぐ『産学官連携教育プログラム』『フィールドスタディー』＜産業界・福祉・医療・幼児教育・官公庁等、各分野との密接な連携による実践的・体験的な職業教育、その活動範囲は学外へ広げていくことにより、企業人・現場スタッフ、卒業生から直接指導を受け、関わり合い、評価を頂くことで、キャリアイメージを明確化し、各自の就職目標達成に向けた学びに対するモチベーションを高める。

これらの経験から見つけられた課題を持ち帰り、アクティブラーニングを活用した学内での学びで解決、ステップアップを目指す（PDCAサイクル）。

「創意進取の研鑽」、試行錯誤を重ね、「クリエイティブな精神」を大いに培う。そして将来プロフェッショナルとなった後も、それぞれの就職先で「現代社会の変化に対応」して自ら動き、課題を見つけ、解決し、高い付加価値を創造する力量を伸ばすこと。

校訓「技術は力なり 我は我が道を行く How to 人間ではなく Why 人間の養成」を具現化するために必要なこれらの "力" の礎（いしずえ）を、修学期間中に一つでも多く身につけよう。

CAN スカラシップ制度」に基づく学生リーダー-N-Cap 生たちが他の学生も巻き込み、学生相互の切磋琢磨により社会性・専門性を高めていく。フィールドスタディーにおいては、「ICT（情報通信技術）・エンターテインメント」×「福祉・医療・子ども・教育」のコラボレートに加え、永年継続して地域から高く評価されている地域活動・ボランティア活動も一層充実させ、地域活性化の一翼を担う。視野を広めることで、複数の分野に跨る複合的な知識・見識を持つ「希少性の高い人材」を目指す。

両専門学校共に文部科学大臣から認定されている「職業実践専門課程」として、各界のプロフェッショナルや専門分野で豊富な経験を積んだ卒業生を中心に構成する学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、情報交換会等、我々教職員も多くのチャネルを駆使して研鑽を重ね、時代の変化と各界のニーズを的確に受け取り、カリキュラム構築・教育・研究を実践していく。

また、専門学校には「中核的人材の育成」についても大きな期待が寄せられている。毎年様々な形で学生が関わらせて頂いている「文部科学省委託事業」（全国の専門学校・企業・業界団体・学識経験者とのコラボレーションによる教育システム・

カリキュラム構築、先端技術を活用した教育手法の研究と実践、コンテストの開催等）に今年度もチャレンジする。

コロナ禍を乗り越えながら蓄積することができた最新の教育ノウハウやオンライン教材・ライブラリも活用しながら教職員・学生が一丸となって、学事を進めていく。グローバルな指針であるSDGs、SWGsを主眼とし、Society 5.0 実現に向けてAI（人工知能）活用、XR（VR 仮想現実、AR 拡張現実、MR 複合現実の総称）やDX（デジタル変革）が急進する今、「時代を先読みし、キャリアイメージを常に持ちながら付加価値を高めていけるプロフェッショナル」になるための着実な教育を実践し、その成果として優秀な人材を世の中に輩出する一年としたい。

【職業実践専門課程】

専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを、「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするもの。平成26年度より新設された。本学園が設置する両専門学校とも認定を受けている。

ご入学おめでとうございます！

教頭 富田 順子

新入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから学園生活を送るみなさんに期待することは「自ら考え、失敗を恐れず積極的に行動すること」です。可能性に満ちあふれているみなさんは、新しく始まる学生生活に、希望に胸を膨らませているのではないのでしょうか？成人されこれまでとは異なり、何事にも自分で責任をもった行動が求められるようになります。その時々で、何をすべきでどうすることが適切か、自分で考え、主体的に行動する。こういった力が求められます。失敗することもあるかと思いますが、学生時代の失敗は、貴重な経験となり、皆さんをさらに成長させる糧となります。失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしていきましょう。

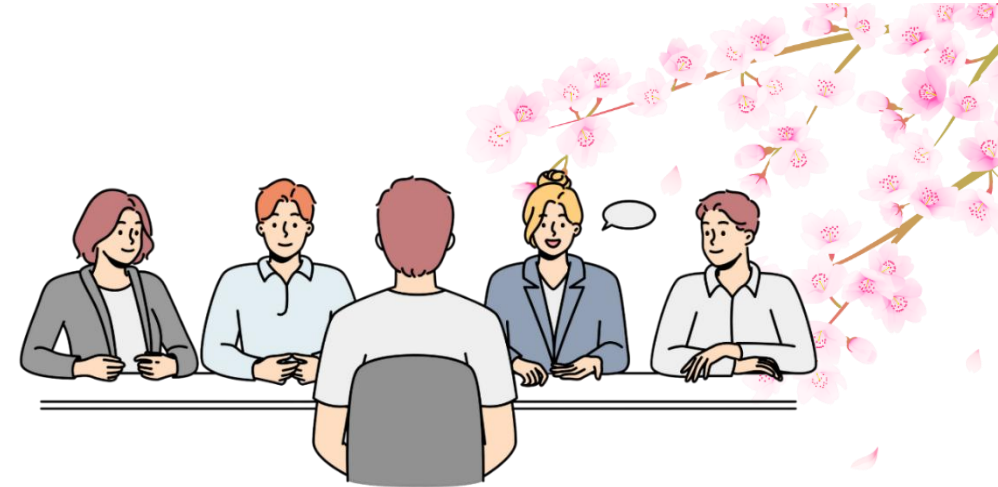
また、「出会いを大切に」してください。学校生活で勉学に励むことはもちろんですが、それ以外で得られるものもたくさんあります。まずは出会いを大切に、生涯にわたって助け合い支えあえる友だち、「心の友」をつくってください。

これから始まる、本学での新しい学校生活が充実したものとなることを祈っております。一緒に頑張りましょう。

学校法人 中村学園

専門学校 静岡電子情報カレッジ

静岡福祉医療専門学校



専門学校静岡電子情報カレッジ

☆IT ゲーム&ロボットシステム学科

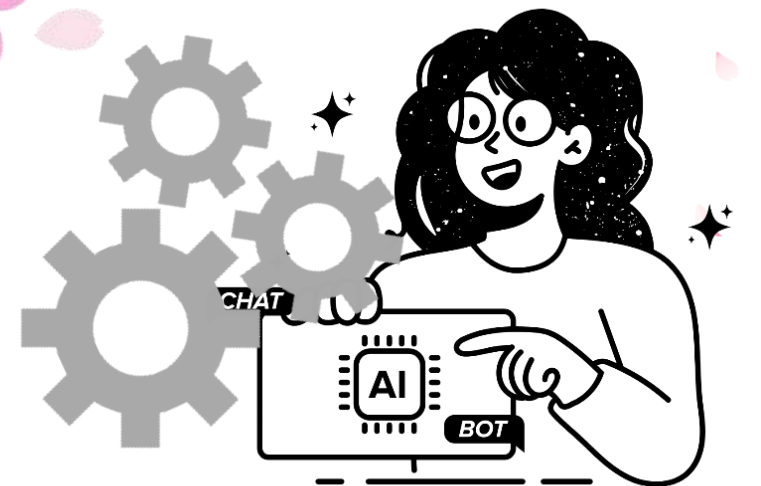
（ゲームシステム研究、ロボットシステム研究、IT スペシャリスト研究）

学科長 中村 健太郎

ご入学おめでとうございます！新しい環境での生活がスタートします。多少緊張している人もいるかもしれませんが、大丈夫です！これから一緒に学んでいく仲間や先生たちが、しっかりサポートします。

皆さんが目指すIT業界はどんどん進化していて、新しい知識や技術が次々と生まれています。だからこそ、学ぶことを楽しむ気持ちがとても大切です。授業や実習でわからないことがあったら、どんどん質問してください。また、インターネットを利用して自ら学んでいきましょう。仲間と協力しながら成長していくことで、知識もスキルも自然と身についていきます。

さらに、勉強だけでなく、人とのつながりも大切にしてほしいです。同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら、学校生活を楽しんでください。2年間という短い期間ですが、一緒に頑張りましょう！





CANジャーナル

2025
令和7年
4月号

☆音響&映像メディアクリエイト学科

(音響エンタメ研究、映像メディア研究)

学科長 五味 正太郎

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。ならびに保護者の皆様、誠におめでとうございます。

本学科は音響・映像といったエンターテインメント分野について学ぶ学科です。最近では音楽や動画といったクリエイティブなコンテンツにも人工知能“AI”が活用され始めています。エンターテインメントは「人を感動させ、楽しませるものである。」そのためには、人の気持ち、感情が重要になってきます。それはAIには読むことのできないものであり、技術が進歩した今だからこそ「人間らしさ」が必要とされています。そこで、この学校生活では多くの人と関わりを持てる2年間としてもらえたらと考えています。人の考えや意見から学ぶことはたくさんあります。それを自分で活かせるように、先生方や友人、外部の方との輪を上手く使って成長していけるよう一緒に頑張っていきましょう。

静岡福祉医療専門学校

♣総合福祉学科

学科長 井川 真世

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。期待と不安を抱えながらも、新たな一步を踏み出された皆さん。福祉の専門職を志そうとしたきっかけはそれぞれだと思いますが、「人の笑顔が見たい!」という共通点をお持ちではないでしょうか。これから専門的な知識・技術、技能を学んでいきますが、「どうしたら人を笑顔にできるか」を考えて欲しいと思います。そして、同時に「どうしたら自分が笑顔でいられるか」も大切にしてください。本学科は地域活動やボランティア活動等学外での活動にも力を入れています。学生時代に体験する全てのことが学びとなり、皆さんを成長させてくれます。ぜひ、色々なことに挑戦してください。もし、悩んだり、つまずいたりすることがあったら先輩や教員を頼ってください。皆さんが充実した学生生活を送れるようサポートしていきます。一緒に笑顔で過ごしていきましょう。よろしくお願いします。

♣介護福祉学科

学科長 三嶋 秀子

ご入学おめでとうございます。介護福祉学科は「共感性豊かで、専門的知識と技術に精通した介護福祉士の養成」を目指します。

確かな理論的基盤に立脚したコミュニケーション技術・基本的人権・専門的知識と技術の習得を行い、利用者様を尊重し、利用者様が安全で快適な生活を過ごせることができるよう、相手の気持ちや立場が理解できる介護福祉士を目指しましょう。そして、人間としても成長し、高い倫理観を持ち合わせた介護のプロを目指しましょう。

さらに、ビジネスマナー、ICT活用技法も身に付け、福祉現場で幅広く活躍できる人材を養成します。理想は高いですが、自主トレーニングや指導を濃密にし、友人や先輩・後輩との連携を図りながら、自己実現を図るため、少しずつ前進したいと考えています。

夢に向かって、楽しみながら一緒にがんばりましょう。

♣視能訓練士学科

学科長 鈴木 ほまれ

ご入学おめでとうございます。視能訓練士学科は「自ら考え行動のできる視能訓練士」の養成を目指します。視能訓練士は眼科で働くコメディカルとして、正確な専門知識・技術はもちろんのこと、常に患者様に寄り添い、思いやることが求められます。また、眼科は乳幼児から高齢者までが対象となる上に自覚的検査（患者様の応答による検査）が多く、正確な結果を出すためには高いコミュニケーション力が必要とされます。3年間を通して、様々な人とコミュニケーションをとり、関わることで視能訓練士に必要な素質を養うようにして下さい。

皆さん一人ひとりが「視能訓練士」という夢を叶えられるように全力でサポートしていきますので一緒に頑張りましょう！

4月の行事

- 1日(月) キッズハウスひかり「入園進級お祝いの会」
- 7日(月) 新入生オリエンテーション9:00～
在校生オリエンテーション13:00～
- 11日(金) 幼稚園入園式、始業式(AM)
健康診断9:00～
- 12日(土) 始業式、入学式(静銀ユーフォニア)
- 14日(月) 在校生前期講義開始
新入生宿泊研修(御殿場)～16日(水)
- 17日(木) 新入生前期講義開始
- 21日(月) 学生会拵労働 ～25日(金)
- 22日(火) 学生会選挙(昼休み) ～23日(火)
- 26日(土) オープンキャンパス 13:15～
- 29日(土) 昭和の日



♣子ども心理学科

学科長 後藤 明子

新入生の皆さん 入学おめでとうございます。

子ども心理学科は「こどもたちの‘こころ’と‘からだ’の健やかな成長を見守り、あたたかいふれあいの『心』を大切にする保育士、幼稚園・保育教諭を育成する」という学生指導方針を根底に置き、さらに「専門職としての知識・技術の修得および子どもたちに何ができるのかを探究する学生」を本学科の目標とする学生像としています。保育者・幼児教育者となるために、まず、①挨拶②相手を思いやる気持ち③礼儀④規則正しい生活⑤行動力 を心がけてください。

また、3年間共に学び合う友人を大切にしてください。私たちの仕事は、自分を大切にすること、周りの人も大切にすることができる人を望んでいます。自分と同じように周りにいる人も心を持っています。そんなことに思いをはせながら、お互いに高め合う間柄になってほしいと思っています。子どもの未来を明るく照らせるような保育者・幼児教育者を目指して頑張りましょう。